

第 26 回環境振動シンポジウム

「環境振動の現状と新たな視点 - 対策検討事例と社会ニーズを通して - 」

<主催> (社)日本建築学会 環境工学委員会 環境振動運営委員会

環境振動運営委員会では委員会設置(1982年)当初より時宜を得たテーマを選定し継続的にシンポジウムを開催しています。今回のシンポジウムでは、従来の環境振動の対象領域の見直しもかねて、前半では、対策検討事例集(約120ページ、当日資料に含まれます。)を作成しこれを俯瞰することで、設計・予測・対策における現状での問題点を抽出することを目的とした話題提供を行います。また、後半では、社会的なニーズを踏まえ、今後環境振動分野で取り組む必要があると考えられる新たなテーマをご紹介します。パネルディスカッションにおいては、これら2つの話題提供に基づいて、今後の環境振動の方向性を議論したいと考えています。

日時：2008年1月22日(火)13:30~17:30

会場：建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

<プログラム>

司会：安藤 啓(鹿島建設)

13:30~13:40	開会挨拶・主旨説明	濱本卓司(武蔵工業大学)
13:40~15:40	主題解説	
13:40	対策検討事例集の位置づけ	志村正幸(建設環境研究所)
14:00	対策検討事例集の内容紹介	増田圭司(フジタ)
14:20	窓外景観による振動知覚と評価	後藤剛史(法政大学)
14:40	長周期地震動と超高層建物の室内環境	斉藤大樹(建築研究所)
15:00	免震建物と環境振動	安井八紀(泉創建エンジニアリング)
15:20	低周波音と環境振動	落合博明(小林理学研究所)
15:40~15:50	- 休憩 -	
15:50~17:25	パネルディスカッション・まとめ	横山 裕(東京工業大学)
17:25~17:30	閉会挨拶	安藤 啓(鹿島建設)

シンポジウム終了後、懇親会(会費は別途徴収)を予定しています。

参加費：日本建築学会・後援団体会員 3,000円 登録メンバー3,500円 会員外 4,000円
学生 2,000円

登録メンバー：日本建築学会継続能力開発支援制度登録会員のこと。

申込締切：1月18日(金)

申込方法：E-mailにて「氏名、勤務先・所属・同電話・同FAX、E-mailアドレス」を明記してお申し込みください。

申し込み・問合せ：日本建築学会事務局 研究事業部 大野

E-mail：ono@aij.or.jp TEL：03-3456-2057